

平成24年度 静岡市発達障がい者支援の実態調査
 ≪利用者アンケート集計結果≫

アンケート回答者数

(単位:人)

機関名	いこい(親子)	いこい(単独)	うみのこ	幼児言語	合計
回答者	44	37	79	223	383
H24各機関の利用者数	164	50	153	521	888
回答率	27%	74%	52%	43%	43%

■お子さんについて

問1 児童の年齢

(単位:人)

No.	年齢	いこい(親子)	いこい(単独)	うみのこ	幼児言語	合計	割合
1	1歳代	0	0	6	0	6	2%
2	2歳代	16	0	10	0	26	7%
3	3歳代	28	0	13	5	46	12%
4	4歳代	0	16	50	24	90	24%
5	5歳代	0	4	0	70	74	19%
6	6歳代	0	16	0	123	139	36%
合計		44	36	79	222	381	-

問2 居住区について

(単位:人)

		いこい(親子)	いこい(単独)	うみのこ	幼児言語	合計	割合	
該 当 区	葵区	18	21	1	92	132	35%	
	駿河区	20	8	0	64	92	24%	
	清水区	旧清水市	6	2	45	36	89	23%
		旧由比・蒲原町	0	0	4	5	9	2%
		不明	0	5	28	24	57	15%
合計		44	36	78	221	379	-	

問3 保育園、幼稚園への入園状況

(単位:人)

No.	園区分	いこい(親子)	いこい(単独)	うみのこ	幼児言語	合計	割合
1	公立保育園	0	1	25	59	85	23%
2	私立保育園	0	0	13	48	61	16%
3	公立幼稚園	0	1	4	17	22	6%
4	私立幼稚園	1	0	24	96	121	33%
5	通っているが園の区分は不明	0	0	3	1	4	1%
6	通っていない	43	27	9	0	79	21%
合計		44	29	78	221	372	-

問4 各機関の利用開始年月

(単位:人)

No.	開始年	いこい(親子)	いこい(単独)	うみのこ	幼児言語
1	H12～	0	0	0	1
2	H20～	0	0	2	1
3	H21～	0	1	5	8
4	H22～	0	11	17	18
5	H23～	7	10	24	58
6	H24～	30	13	2	112
7	H25～	4	0	0	6
合計		41	35	50	204

問5 利用の経緯(複数回答)

(単位:人)

No.	経緯	いこい(親子)	いこい(単独)	うみのこ	幼児言語	割合
1	他機関からの紹介 ※	37	39	70	115	51%
2	以前から知っていた、または 情報を得て利用を希望した	4	1	6	35	16%
3	その他 ・他の保護者や知人からの紹介 ・他県の保健師からの紹介 ・兄弟が通っていたから 等	6	1	2	75	33%
合計		47	41	78	225	-



※他機関とは

(単位:人)

機関名	いこい(親子)	いこい(単独)	うみのこ	幼児言語	合計	割合
保健福祉センター	30	4	53	45	132	52%
医療機関	1	6	4	27	38	16%
行政機関	3	0	2	6	11	4%
療育機関(いこいの家、うみのこセンター、幼児言語教室)	0	1	4	10	15	6%
いこいの家親子	0	28	0	23	51	20%
その他(保育園、幼稚園、発達障害者支援センター)	3	0	3	0	6	2%
合計	37	39	66	111	253	-

■子育てについて

問6 母子手帳以外に子どもの成長と発達の記録ファイル等を作成しているか

(単位:人)

No.	作成有無	いこい(親子)	いこい(単独)	うみのこ	幼児言語	合計	割合
1	作成している	6	11	11	57	85	23%
2	作成していない	38	25	65	161	289	77%
合計		44	36	76	218	374	-

問7 作成している場合、使用している様式は何か(複数回答)

(単位:人)

No.	使用様式	いこい(親子)	いこい(単独)	うみのこ	幼児言語	合計	割合
1	すくすくファイル	0	9	4	42	55	60%
2	独自の様式	6	2	8	19	35	38%
3	その他(たけのこぐんぐんファイル)	0	0	0	2	2	2%
合計		6	11	12	63	92	-

問8 作成していない場合、その理由は何か(複数回答)

(単位:人)

No.	理由	いこい(親子)	いこい(単独)	うみのこ	幼児言語	合計	割合
1	もう少し子どもが大きくなってから作成するつもり	3	1	6	10	20	5%
2	母子手帳で足りている	55	4	15	52	126	31%
3	必要性を感じない	6	3	5	19	33	8%
4	記録用ファイルの存在を知らなかった	71	22	36	56	185	46%
5	その他 ※	4	5	6	27	42	10%
合計		139	35	68	164	406	-

※その他

回答機関	内容
いこいの家(親子)	<ul style="list-style-type: none"> 作成する時間と余裕がない 多忙なため 等
いこいの家(単独)	<ul style="list-style-type: none"> いこいの家の連絡ノートに記載している 時間的に余裕がない 日記や連絡ノートを記録として残している それほど成長の変化がない、変化がゆっくりすぎていつ何が出来るようになったか明確に記述できない
うみのこセンター	<ul style="list-style-type: none"> 必要性は感じているが時間がかかりそうで手を付けていない 知っているがまだ手を付けていない 知っているが印刷している時間がなかった
幼児言語教室	<ul style="list-style-type: none"> すくすくファイルをもったがまだ書いていない 初めは作成していたが続けて記入できない 現在多忙なため、時間に余裕ができれば作成するつもり 母子手帳に写真などを入れて活用している ファイルの種類が多くて何を使ったらいいかわからない 保育園のノート等を記載している 子どもの大きな出来事は日記に書いている 幼稚園で身体測定や生活の記録等を記入してくれるため、自分では作らなくてよいと思う 兄弟が多くそこまで手がまわらない 毎年家族のアルバムを作っているため、その子だけでなく家族をひとまとめにしている

問9 あそびの教室に参加したことがあるか (単位:人)

No.	参加有無	いこい(親子)	いこい(単独)	うみのこ	幼児言語	割合
1	ある	17	4	20	36	17%
2	ない	26	33	57	174	83%
合計		43	37	77	210	

問10 当機関以外に利用している施設及びその理由 (複数回答) (単位:人)

No.	機関名	いこい(親子)	いこい(単独)	うみのこ	幼児言語	合計
1	保健福祉センター(あそびの教室含む)	6	0	0	1	7
2	子育て支援センター	6	0	1	5	12
3	児童館	3	0	2	1	6
4	発達障害者支援センターきらり	1	0	2	8	11
5	児童発達支援事業所(トミーズ)	6	6	0	0	12
6	いこいの家	0	0	1	0	1
7	うみのこ	1	0	0	0	1
8	医療福祉センター	0	5	7	21	33
9	こども病院	1	0	4	4	9
10	済生会	0	0	0	1	1
11	個人病院	0	0	0	1	1
12	動作法(心理療法)	0	1	0	0	1
13	てんかんセンターST,OT	0	0	1	0	1
14	医療機関OT	0	0	0	2	2
15	桜ヶ丘病院ST	0	0	1	0	1
16	わとど・あおぞら(NPO法人なのはな)	1	0	0	0	1
17	まほろば(NPO法人なのはな)	0	0	1	0	1
18	こあらだっこ	1	0	0	0	1
19	ヤマハ音楽教室	1	0	0	0	1
20	視覚特別支援学校ひよこ教室	0	1	0	0	1
21	保育園	2	1	0	0	3
22	交流保育	0	0	1	0	1
23	清水体育館親子運動教室	0	0	1	0	1
24	学研活動	0	0	0	1	1
合計		29	14	22	45	110

※どの機関においてみ、利用頻度はおおむね月1~4回

【利用している理由 ～選択欄～】

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1 自宅の近くにあり通いやすいから | 2 専門的知識があるスタッフがいるから |
| 3 他の親子と交流ができるから | 4 子どもの発達や子育てに関する相談ができるから |
| 5 情報収集ができるから | |
| 6 その他 | |



No.	機関名	理由選択						その他
		①	②	③	④	⑤	⑥	
1	保健福祉センター(あそびの教室含む)	①	②	③	④	⑤	6	
2	子育て支援センター	①	②	③	④	⑤	⑥	本を読んでくれたり、同年代の友達と一緒に手遊びや歌が歌えるから
3	児童館	①	2	③	4	⑤	⑥	家にはない遊びができる
4	発達障害者支援センターきらり	①	②	3	④	5	6	
5	児童発達支援事業所(トミーズ)	1	②	③	④	⑤	⑥	他の兄弟、姉妹の面倒が見きれないため
6	いこいの家	1	②	③	④	5	6	
7	うみのこ	1	②	3	④	5	6	
8	医療福祉センター	1	②	③	④	⑤	⑥	
9	こども病院	1	②	3	④	5	6	
10	済生会	1	②	3	4	5	6	
11	個人病院	1	②	3	④	5	6	
12	動作法(心理療法)	1	②	3	4	5	6	
13	てんかんセンターST,OT	1	②	3	4	5	6	
14	医療機関OT	①	②	3	④	5	6	
15	桜ヶ丘病院ST	①	2	3	④	5	6	
16	わとと・あおぞら(NPO法人なのはな)	①	②	3	④	5	⑥	幼稚園入園前に小さな集団生活をしてもらいたかったから
17	まほろば(NPO法人なのはな)	1	②	3	④	5	6	
18	こあらだっこ	1	2	③	④	⑤	6	
19	ヤマハ音楽教室	1	②	③	4	5	6	
20	視覚特別支援学校ひよこ教室	1	②	3	4	⑤	6	
21	保育園	1	②	3	④	5	⑥	
22	交流保育	1	2	3	4	5	⑥	保育園に入っていないため
23	清水体育館親子運動教室	1	2	③	4	5	6	
24	学研	①	2	3	④	5	⑥	先生が個人的によく見てくれるから

■ その他

問11 子どもの子育てに関する悩みや不安をどんな方へ相談しているか、またはどんな方がいれば相談しやすいか

No.	相談者	いこい(親子)	いこい(単独)	うみのこ	幼児言語	合計	割合
1	保育園の保育士・教諭	5	5	50	142	202	26%
2	保健福祉センター保健師	23	23	21	32	99	13%
3	療育機関等の専門的資格のある職員	26	25	32	52	135	17%
4	同じ境遇、同じ悩みを抱える保護者	29	29	41	104	203	26%
5	行政機関	0	0	3	2	5	1%
6	医療機関の医師・看護師	15	15	21	35	86	11%
7	その他 ※	4	5	7	33	49	6%
合計		102	102	175	400	779	-

※その他

回答機関	相談者
いこいの家(親子教室)	家族、友人
いこいの家(単独通園)	最先端の研究を取り入れてる方、リハビリ先の訓練士
うみのこセンター	自分の親、近所の人、子育て会の先生、子育て支援センターの先生
幼児言語教室	祖父母、両親、友人、夫、幼稚園の母親たち、幼児言語教室の先生、診断、診察のみでなくどうやって伸ばしていくか考えてくれる方

問12 現在ある既存の機関・施設に関する意見、または今後望む機関、施設に関する意見

1 静岡市内の既存機関・施設に対する意見

○いこいの家(親子教室)利用者

★施設の情報に関するもの

- ・一歳半健診で特に指摘されず、教室を知る術がなかった。もっと早く参加したかった。
- ・保護者から聞くのではなく、保健師さんからもっと積極的に教室の情報がほしい。
- ・民間の療育機関や手厚い幼稚園などの情報がわかるといいです。

★施設の充実に関するもの

- ・子育て支援センターの駐車場が少ないから増やしてほしい。
- ・児童館を月曜も行ってほしい。
- ・室内で遊べる場所を増やしてほしい。
- ・子育て支援センターの場所が家から遠く利用しづらい。保育園でやっているおしゃべりサロンの回数を増やしてほしい。
- ・親子教室の回数をいいので増やしてほしい。
- ・城東の駐車場、東部保健センターの駐車場が少ない。子連れでいくと不便さを感じる。
- ・子育て支援センターで実施している誕生日会の回数(今は月1)、参加人数を増やしてほしい。
- ・子どもが安心して遊べる支援センターを増やしてほしい。
- ・いこいの親子教室のような就園前に集団生活ができる場所を清水区にもほしい。
- ・いこいの親子教室のようなものを駿河区にもほしい。
- ・清水区にも療育機関等を増やしてほしい。
- ・仕事や介護で多忙なので、保育園を増やしてほしい。

★その他

- ・発達障がい疑っている頃、きらりに相談したのですが、子ども病院を紹介され、その後色々自分で調べ、医療福祉センターで療育を受けることができたが、子ども病院では受診までに何ヶ月か待つ上、療育も受けられなかったのでできれば医療福祉センターを紹介してもらいたかった。

○いこいの家(単独通園)利用者

★施設の情報に関するもの

- ・専門知識のあるスタッフが少なすぎる。知識、経験がある方に相談したい。もっと経験をつむ機会を増やすなど資格が本当に役立つようにしてほしい。

★施設の充実に関するもの

- ・医療福祉センターの駐車場の台数を増やしてほしい。屋根もほしい。
- ・トミーズのような施設を増やしてほしい(駿河区にも)。
- ・専門資格があるだけでなく、よりの確にアドバイスのできるスタッフが必要。
- ・いこいの家の利用人数、回数を増やしてほしい。
- ・医療センターやいこいの家などいつも利用しているところでも役所で行う色々な手続きができるようになってほしい。
- ・児童デイの定員がいつもいっぱい利用できない。土日祝も訓練してほしい。児童デイをバスで送迎してほしい。障害児の親はなかなか働きづらいので、年齢や人数、私立公立に関係なく受け入れてもらえる保育園がほしい(加配をつけて)。
- ・いこいの家のあとに医療福祉センターに行くのは大変なので、いこいの家で訓練できるようにしてほしい。大阪で通っていた療育園では時限が決まっていた集団療育から抜けて訓練できるシステムだった。
- ・清水区に放課後支援デイサービスの施設を増やしてほしい。

○うみのこセンター利用者

★施設の情報に関するもの

- ・発達の相談が出来る電話があると心強い気がします。病気は電話で聞けますが、おむつはずれなど専門のアドバイスが身近にあればうれしいです。
- ・～ヶ月検診、等の時に、こんな施設があるんですよ的な周知活動を大々的にやってくると気軽に相談できる場所があるんだ、と知ってもらえていいと思う。
- ・言葉が遅い子に対する言葉の教室についてもっと紹介してほしい。
- ・育て方の情報や、アドバイスがすぐに読めたり気軽に聞けたりするとうれしいです。
- ・うみのこの通所回数が低年齢のときに多くあると良かった。1～2歳児の時、もっと気軽に相談に行けるようなところが欲しかった。

★施設の充実に関するもの

- ・清水区の言葉の教室は混みすぎていてすぐに対応してもらえないので拡張してほしい。
- ・施設をもっと色々なところにあると助かります。
- ・東日本大震災の後、東海地震だけでなく南海トラフ地震の津波の心配があるので、建物の耐震化と津波に耐えられる構造にして下さい。
- ・うみのこの教室の回数を増やしてほしい。
- ・うみのこに満足しています。
- ・いこいの家では身体機能が未熟な子の教室があるので、清水区にも同じような施設があったら良いなと思います。
- ・できたらうみのこセンターさんの回数が週1くらいあるといいなと思います。
- ・うみのこでペアレントトレーニングを定期的にやってほしい。個人指導の時間も作ってもらえると心強い。
- ・うみのこセンターの職員の専門性や経験を上げてほしい。
- ・保健センターの遊びの教室が定員オーバーということで紹介されましたが、もっと定員キャパが大きければ良いなと思いました。
- ・専門の支援保育園ができて欲しい。年長まで通育できるような(いこいの家のような)
- ・支援学校が夏休みなど長期の休みのときに通える施設をもっと増やしてほしい。今、五つくらいしかないと聞いたから。
- ・清水区の言葉の教室に入るのに、面接を受けるのでさえかなり先になってしまうとの話なので、言葉のほうに心配があるような子を受け入れる施設をもっとあってほしい。
- ・蒲原から清水まで少し遠いのもう少し近くにこの様な施設があると良いです。

○幼児言語教室の利用者

★施設の情報に関するもの

- ・ことばの教室で相談できることを周知してほしい。
- ・気軽に相談できる施設があるといい。
- ・身近にいろんな施設があることを知りたい。知らない人がたくさんいると思う。
- ・既存の施設にどのようなものがあるか分からないので、電話などで紹介してほしい。

★施設の充実に関するもの

- ・言語教室を利用するまでに七ヶ月かかったので、教室を増やしてほしい。「きらり」の相談回数が少ないので増やしてほしい。
- ・医療福祉センターのリハビリ等回数についてたくさん予約がとれるようにしてほしい。
- ・きらりを利用しているが、人数が多く、順番がまわってこない。先生をふやしてほしい。
- ・保育園でも相談できるアドバイザーがほしい。
- ・無料で利用できる感謝している。専門家の意見として一人の子を違う角度から見てくださり、親も子を客観視することができる。
- ・子育て支援の相談や教室を増やしてほしい。
- ・言語教室を小学校になっても通えるようにしてほしい。通級できる学校も増やしてほしい。
- ・言語教室の回数や遊びの教室の場数を増やしてほしい。
- ・教室へ医療関係のくわしい先生(療育を含め)にきてもらいたい。
- ・「いこいの家」のような療育施設が増えればいいと思う。
- ・一ヶ月以上、指導のプランがないよう、日程を工夫してほしい。
- ・午前、午後くらいの時間が選べるとよい。回数も月2回あればうれしい。
- ・小学校入学と同時にグレーゾーンの子供のフォロー体制が手薄になる。紹介された「きらり」は敷居が高い。
- ・より多くの子供が通えるように場所を増やしてほしい。
- ・OT/ST施設を増やしてほしい。
- ・土曜日も運営してほしい。(平日は働いている為)、土曜日でも相談できる教室がほしい。
- ・各保育園などに月数回、専門資格者は配置してもらい、気軽に相談したい。
- ・さくらんぼ教室の回数をふやしてほしい。
- ・学習交流館で行われる「リトミック」の実施をふやしてほしい。
- ・小学校入学後も「ことば教室」などで受け入れてもらえるようにしてほしい。小学校とも連携をとってほしい。

- ・医療福祉センターはいつも混み合っているので、同じようなセンターがほしい。
- ・母親同伴だけではなく、祖父母で同伴も可能にしてほしい。

★その他

- ・細かいところまで教えてくださり助かっている。
- ・ことばの教室の先生に相談ができてよかった。(私＝親がうつ病になって子供に影響してとても悩み、教室でも心を開けず大変でした。

2 今後望む機関や施設に対する意見

○いこいの家(親子教室)利用者

- ・保育園や幼稚園入園前に通える施設や機関があることをもっと知らせてほしい。
- ・他市の友達と話がかみ合わないことがあるので、他の市の施設を調べられる(比較できる)コーナーを設置している施設があるとよい。他市の情報も知りたい。
- ・赤ちゃんから3歳児まで同じ場所なので、子育て支援センターの遊べるスペースを広くしてほしい。
- ・清水区にもトミーズのような療育施設があるといいです。
- ・発達に障害のない子でも就園前に慣れる為に通えるような教室がもっとあったらいい。
- ・療育施設の数、予約受付数が限られていて予約が取れないから増やしてほしい。
- ・入園前に気軽に通えるような療育機関や、相談ができる施設が近くにあったらと思う。
- ・早期療育施設を増やしてほしい。リハビリ施設も増やしてほしい。
- ・入園前に通えるような施設、いこいの家のような場所を増やしてほしい。
- ・児童デイサービス(就園前に通える)が清水区にもほしい。
- ・専門知識のあるスタッフがいる療育施設が清水区にもほしい。もう少し簡単な方がいい。
- ・ダウン症の子どもでも就労のことを考える親の負担をなくしてほしい。
- ・保育園の増園。
- ・幼稚園でも加配をつけられるようにしてほしい。今年度保育園で待機になっているが、早い段階でどのような進路があるのか待機児童の状況はどうかなど、マイナス面も含めて情報がほしい。「3歳児の待機児童はほぼない」という印象だったのに待機になり、気持ちの切り替えが大変だった。
- ・保育園・幼稚園入園前に通える療育機関で生活面をもっと練習してほしい(うがい、手洗い、着替えなど)療育、通園が一つになっている機関がほしい。
- ・もっと気軽にいつでも相談できる機関や施設がほしい。障害児を育てる親や兄弟を支えてくれる機関がほしい。
- ・一つの機関で総合的にサポートや情報がほしい。子ども病院にかかっているのに医療福祉センターは利用できない。今後の療育をどうすればいいか迷っている。
- ・言語教室が混みすぎていて、面接まで約一年待つことになりがっかりしている。ニーズにあった教室をもっと増やしてほしい。

○いこいの家(単独通園)利用者

- ・結局どこで相談していいかわからない。数ある施設の情報を総合的に持っていて、理解しアドバイスしてくれる機関がない。「〇〇は〇〇に聞いてください」「△△は△△に聞いてください」親が自ら調べ動かないと情報が得られない。健常児と障害児を区別しすぎて、ともに育てる施設を作ってくれないとどんどん孤立する。
- ・障害のある子もない子もそのことを理解した上で遊べるような子育て支援センターのような施設があるとよい。健常児だらけの支援センターには障害有の子は行きづらく引きこもりがちです。
- ・清水区にもいこいの家のような施設を作してほしい。
- ・親が体調を崩したときに預かってくれる施設、学校入学後の放課後見てくれるところ。
- ・卒園後に大きくなった子どもと家族が気軽に集まったり遊んだりできる施設があるとデイサービスに預けるだけでなく行き場ができ、障害者家族同士の交流、相談がしやすくなりありがたい(障害者家族のみ利用できる娯楽、余暇施設)
- ・最先端の研究データを取り込んで療育してほしい。
- ・療育(訓練)してくれる通園施設があるとよい。
- ・療育機関でOT,STをうけているけど、何年たっても改善している実感が持てない。もっと目にみえてくる方法で療育ができるようにしてほしい。いつまでもかわらず子どもが自立できないようで不安になる。ただお遊びをやって褒めるだけでなく、自立できるようなしっかりした療育をやってくれる施設を増やしてください。
- ・医療行為の必要な子どもが通えるデイサービスをもっと増やしてほしい。またそのような施設に吸引など(医療行為)できるスタッフを充実させてほしい。親のトレーニングをしてくれる施設が必要。
- ・保育園といこいの家、両方に通えるような制度があるといい。
- ・医療行為の子どもを預かってくれる施設を増やしてほしい。
- ・おむつの外れていない障害のある子も通えるスイミングスクール、音楽療法をやってくれる施設、日曜も行くことのできる施設がほしい。
- ・働くお母さんが増えているので、土日の一時保育や放課後支援をしてくれるところを増やしてほしい。清水区にもデイサービスを作してほしい。障害の持つ親も働きやすい行政作りをしてほしい。
- ・肢体不自由児のデイサービス(放課後支援、土日デイサービス)を増やしてほしい。
- ・いこいの家で就学児もやってほしい。
- ・清水区に施設を増やしてほしい。
- ・市内にいこいの家のような療育施設を増やしてほしい。駿河区安倍川以西にも。
- ・気軽に通え、一つの機関で相談、療育、通園できる総合施設があるとよい。

○うみのこセンター利用者

- ・園以外で通える施設が欲しい。
- ・曜日や時間帯をもう少し考えてもらえると助かります。仕事を休むのも大変なので。
- ・入園前に通える療育機関をもっとほしい。「きらり」のような相談しやすく、園など訪問して細かく見てくださる機関を清水区にも作ってほしい。入学前のPTがいるような施設を病院以外にも通いやすいように作ってほしい。
- ・いつでもどこでも、相談できる場所があると助かります。
- ・入園前に通える機関をもっとあるとよい。もっと気軽に通える施設があるとよい。
- ・各機関や施設との連絡、調整などしてくれるコーディネーターなどいたらいいと思う。
- ・清水区には児童館がないので、できるだけ早く(2~3年以内に)児童館を作ってください！！
- ・少し通うのが遠くて大変なので市内に何ヶ所かある方がいいと思う。
- ・小学校へ入学してからも発達に障害のある子どもたちが通える(週1度でも)な所を作ってもらいたい。
- ・療育施設が増え、頻繁に通えるようになると良い。
- ・療育デイサービスを清水区にも(未就学児対応)
- ・保育園に通っているので午後からの活動だととても助かります。
- ・もう少し近くにあると良い。
- ・一つの機関での複合施設はあったら便利だと思う。
- ・放課後児童クラブの施設を増やしてほしい。
- ・家から近いところに通える療育先があると良い。
- ・専門機関の方に気軽に相談ができる体制を作ってもらいたい(現在は1年待ちなどしなくてはならない)
- ・保育園や幼稚園のように毎日通園できる施設があるとよい。病院の医師と横のつながりを作り、連携して子育ての方針を決めたりできると良い。
- ・専門の支援保育園ができてほしい。年長まで通育できるような・・・いこいの家のような・・・
- ・うみのこセンターは小学校就学前までだが、そのまま続けて通えるとうれしい。
- ・清水にも医療福祉センターのような施設がほしい。
- ・東部・千代田保健センターで行っている「ぞうさん」清水区でもやってほしい。
- ・3歳になると療育の子が増えてきたので、もっとクラスが増えると助かる。
- ・一つの機関で相談・療育・通園は本当にありがたいものです。
- ・清水区にも「いこいの家」のような施設ができた。
- ・十分だと思う。いろいろ講座などためになるお話を聞けるから。
- ・一つの施設でできると安心だし、一人の先生に集中して相談できて気持ちも楽です。
- ・発達の遅れを感じる子を連れて行ける「子育て支援センター」がほしい。

○幼児言語教室の利用者

- ・家の近く(駿河区)にあると助かる。
- ・同じ悩みを持つ親同士の交流の場所がほしい。
- ・親を支える相談機関があるといい。
- ・小学校に入る為の療育を行う施設を増やしてほしい。
- ・コミュニケーショントレーニングの場を作してほしい。
- ・気軽に通ったり、相談できる相談員がほしい。連絡をとれやすくしてほしい。
- ・子供の状態をみて明確な判断ができる医者してほしい。専門的に対処してほしい。
- ・周りに理解できない教師が多い。
- ・一つに機関で相談、療育、通園などが行える複合施設があればよい。
- ・「何かあったら相談できる場があるのは心強い。
- ・機関や施設をふやしてほしい。
- ・保育園、幼稚園入園前に通えるものがあるといい。
- ・家の近く(旧清水市)(蒲原)に通える場所があればいい。
- ・言語のみの生徒だけの教室がほしい。
- ・同じ悩みや相談できるお母さんの会話がよい勉強になった。楽しい。
- ・さくらんぼやうみのこは利用者が多く待機時間が長いため、利用しやすくしてほしい。
- ・相談してから教室に参加できるまでの機関が長い、短くしてほしい。
- ・週末の利用ができたり、自由にいける場所がほしい。
- ・ことば教室がある小学校をふやしてほしい。
- ・月一回でも保育園に出張してほしい。
- ・気軽に通い相談できる機関や施設がほしい。
- ・学校が終わってから行ける時間がいい。
- ・いろいろ相談できる時間があればうれしい。
- ・一つの機関で相談、療育、通園ができるといい。
- ・就学前や就学後も通えるデイサービス事業所をふやしてほしい。
- ・一事業所の一ヶ月辺りの通える日数をふやしてほしい。(親が勤められない)
- ・2歳くらいからことば教室に通わせたい。
- ・専門の先生の増員をしてほしい。
- ・もっと近くに(駿河区)気軽に相談できる専門知識をもったスタッフがいる施設があるといいと思う。
- ・近くの保健福祉センター(駿河区)に専門の方がいてくれると、相談しやすくなる。
- ・1対1で相談できる先生がいると安心。
- ・言語教室のこと、3歳児検診時に親にも目に付くようにPRしてほしい。(母子手帳にかいてほしい)
- ・一つの機関で相談、療育、診療ができる療育センターがあるといい。
- ・今後小学校に入ってからも通える、手帳や診断名のない(当てはまらない)子どもの施設を作してほしい。
- ・小学生になっても希望すれば進級教室に入れるようにしてほしい(今は支援級が適当だと判断されたら入れない)通常級に通いなが

らフォローしてもらえ方がほしい。

3 その他行政への意見、要望等

○いこいの家(親子教室)利用者

- ・発達障害について無知だったためすぐに気がつけなかった。一歳半検診で発達障害の傾向があると言われたらもっと勉強できた。そういう話が一歳半検診であるといい。
- ・発達障害があるないに関わらず、子育てがしやすいように対応した施設、人員を増やしてほしい。
- ・保育園にいれて働きたいのに、働いてないからといって入園できない。お金もなくこの先が不安。
- ・幼稚園で専門的資格のある先生(スタッフ)の人員を確保してほしい。
- ・全ての情報はママ友のネットワークで知ったのですが、これでは知っている人と知らない人の差が出てしまう。市役所に行けば、相談(全てを)教えてくれるといった漢字になってほしい。今の市役所は聞いたことしか応えてくれない。
- ・保育園の決定機関が遅い、入れなかった子に対してのフォロー、相談、親身になってほしい。

○いこいの家(単独通園)利用者

- ・保健センターの方の障害に対する考え方、知識の向上を期待している。
- ・アンケート等の声を活かしてほしい。手続が多すぎる上にわかっていない職員は多すぎる。当てはまる人にそれぞれ必要な情報をしっかり教えてほしい。
- ・駿河区に障害児専門の放課後デイサービスの様なものを作ってほしい。就学したら利用したが葵区ばかりで負担になり今から不安。
- ・教育委員会の改革
- ・小学校入学時に教育委員会など関係なく、親の希望通りに学校を選びたい。
- ・説明、案内の不足。質問しないと関連する問題を教えてくれない。
- ・手続のときに住所氏名など同じことばかりを書くので、その手間を省いてほしい。
- ・公立保育園に限定せず、私立保育園や幼稚園でも加配を付けてくだされば障害があっても落ち着いて過ごし成長することはできますので、人員を増やしてください。
- ・施設利用までの手続が大変なのでもう少し簡単にしてほしい(施設を探すところからだと大変)
- ・もっと障害児の現状を理解している人が行政に携わってほしい。
- ・親身になって相談を受け、詳しい情報をくれるのはどこですか。もっと親の立場に立ったサービスの提供の仕方をしてほしい。紙切れをくれるだけで、親のがんばり、行動力で全て決まる。行政には何も期待していない、法律上のサービスを受けるための手続の場でしかない。
- ・土日も預けられる施設、もっと長く利用できる施設がほしい。
- ・通いやすいところに学校がほしい。体の不自由な子どもが遠くへ通い、なぜ元気な子どもはすぐその学校に行くのか。全ての小学校に特別支援学級を置くべき。
- ・区役所でもっと仕事の内容を勉強しておいてほしい。
- ・清水区の放課後支援事業所をもう少し増やしてほしい。
- ・行政の福祉課の中に、きちんと障害のことを理解している専門の人を配置してほしい。
- ・平日19時位まで預けられる施設、働くお母さんが困らないくらいの数のデイサービスを増やしてほしい。

○うみのこセンター利用者

- ・センターに入りたくても入れない声も多く聞くので、こういった機関を増やしてくれたらとも思う。
- ・お年寄りばかりでなく、子どもたちのための施設をもっと増やすべきだと思います。仕事を安心してできる環境を作ってください。
- ・言葉が遅かったため、うみのこさんを教えてもらいましたがささやかな心配がある人はたくさんいると思います。相談先がわからない人もいると思います。
- ・できるだけもっと早くこの様な機関に参加してみたかったのですが、仕事をしている都合上なかなか難しかった。親のニーズに応えられるよう施設や相談ができる場所をもっと必要だと思います。ほしかったです。
- ・清水の山の方に住んでいるため、近くになるとうれしいです。
- ・制度を利用するにも縦割りと感じることが多い。
- ・せっかく合併したので、葵区と駿河区と清水区が同じように療育を受け入れられるようにしてほしいと思います。手をさしのべてもらえるのを待っている人はもっとたくさんいると思います！！
- ・保健師によって介入が積極的な方とそうでない方がいる。幼稚園に入園できない(歩けないので)、保育園に通園するしかないのでもそういった場合(リハビリとかにもいかななくてはならない)就労を免除してほしいです。
- ・待ちが多い(一年後、三ヶ月後など)相談が。保育園も同様。
- ・一人で子育てするのではなく、社会として一緒に育てているという実感が持てると不安が少なくなり、安心できると思います。地域(自宅の周り)の方々とも協力し合えるような社会になっていけば良いと思います。
- ・うみのこセンターみたいな所が市内に(清水区にも)数を巣やしてもらえたら良いです。同じ区内のお母さんが北部の方から通ってると大変そう。午前中にうみのこ、昼から幼稚園というように一日が過ごせたらよいですね。
- ・「求められれば教える」のではなく、「必要としている人に教える」行政になってください。
- ・施設の情報等知らないところなど多々あるので、もっと提供してほしい。

○幼児言語教室の利用者

- ・NPOや医療法人でも同様なことをやっているところがあるか教えてほしい。
- ・障害があると思ってもなかなか踏み出せない。気軽に相談できる場所がほしいです。
- ・子どもの成長によってのんびりな感じがあるんですが、どこまでが普通で、どこから障害かわからない。
- ・型にはめる教育の現場を減らしてほしい。また、最初からできないと決め付けて皆と一緒にできないような方針を取る教員を減らしてほしい。
- ・空きがなく待っている人が多いときいたので、希望されている方が「ことばの教室」に通えるようになるといい。
- ・ことばを促す講義などがあれば、参加したい。
- ・医療福祉センターのような施設を葵区街中に作ってほしい。(こども病院は遠い。)
- ・ことば教室にかよって本当によかった。ありがとうございました。
- ・始めはどんなサービスがあるのかわからず戸惑った。「わかりやすく呼びやすい」仕組みになってほしい。
- ・ことばの教室の先生方には大変よくしていただいています。こども未来局の開局にあたりより一層の機関の増加を期待しています。
- ・この施設でとても助けられました。友人がなかなかこのクラスに入れないとってました。(二人)
- ・保育園に通いながら、ことばの教室へも通えるように、土曜日の教室や遅い時間も教室があると助かる。
- ・全体的に指導する立場の教員をもっと増やして、子供を手厚くみてほしい。
- ・心が何度も折れそうになった経験があるので、親の支援もお願いしたい。
- ・軽度発達障がいについて、クラスメートに知ってもらう環境や機会がほしい。
- ・待ち時間が増えるとあせってしまうので、早い時期から通えるようにしてほしい。
- ・気軽に相談できる教室が近くにあり通わせていただけてありがたい。
- ・少しの遅れでもことばの教室に通えるようにしてほしい。
- ・児童館や公園をふやしてほしい。
- ・＜保健士について＞2歳健診のとき、指示されていることをやらなかったり、話すのが遅いだけで「遅れている」と何度もいわれ心外でした。一年後には話しができるようになったので、親の不安をあおるような言動は謹んでほしい。親心として「大丈夫」といつてもらいたい。
- ・未就学児全員を対象に言葉やADHDなどのテストがあるといい。
- ・4年間子供は嫌がらず通うことができました。ありがとうございました。